

報道資料

令和6年10月18日

1 件 名	～やまぐち子ども未来型学習プロジェクト～ 「うご板 (いた)」 in 徳地中文化祭		
2 日 時	令和6年10月26日(土) 8:30～14:00		
3 場 所	山口市立徳地中学校(山口市徳地堀1606)		
4 内 容	本市教育委員会と YCAM が連携した先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト(※1)」の1つに、「文化祭でのICT活用(※2)」の取組があります。一昨年度、山口市立宮野中学校、昨年度は、山口市立大殿中学校文化祭において取り組み、今年度は山口市立徳地中学校で実施します。生徒たちが1人1台のタブレット端末(Chromebook)を使って映像制作を行いながら、今までにない現代のデジタル壁画「うご板(いた)」を、昨年度に引き続き公開します。 一般的に映像の「編集」は動画編集ソフトを用いて、映像データを端末のディスプレイに表示し、イメージと時間を切り貼りする作業ですが、「うご板」の教材を活用することで、生徒自身が1つの映像素材の役割を体験し、複数の映像を並べる、重ねる、繋げる、といったブロック遊びのように体感的に行うことができます。 文化祭で生徒たちはこの教材を用いて、映像の動きやストーリーを繋ぎ、合計約60台におよぶ大量のタブレットでインスタレーション作品の制作をめざします。 【うご板 (いた)】 ※今回の作品とは異なります。    【日程】 10:30～11:00 ①報道関係者受付 11:00～11:30 ②報道向け概要説明 秋田公立美術大学 准教授 萩原 健一氏 YCAMスタッフ 等 11:30～13:00 ③「うご板」展示ブース取材 ※12:00～13:00の時間帯にて、「うご板」の制作に関わった生徒の代表による取材対応を予定しています。		



山口市

(※1) やまぐち子ども未来型学習プロジェクト

教育委員会とYCAMが連携し、山口の子どもたちに、ICT機器の操作方法や情報（メディア）リテラシーの習得を働きかけるとともに、情報を分かりやすく発信・伝達する能力やプログラミング的思考、情報モラルなどの情報活用能力を育み、これからの山口を担う人材の育成をめざす。

(※2) 文化祭でのICT活用

「うご板」を制作する過程で、生徒自身の発想力、創造力、論理的思考能力を育成するとともに、Chromebook等のICT機器の操作技術や情報（メディア）リテラシーの習得を図る。

◆報道関係者の皆様へのお願い

・取材を希望される場合は、10月24日（木）までに学校教育課担当（梶山）まで御連絡ください。

10月26日（土）以前に、文化祭当日までに至る制作（準備）活動の取材を希望される場合は、別途お早めに学校教育課担当（梶山）まで御連絡ください。

5 出席者

山口市立徳地中学校生徒及び教員、YCAMスタッフ、秋田公立美術大学 准教授 萩原健一氏、他スタッフ

6 問い合わせ

山口市教育委員会事務局 学校教育課

Tel (083) 934-2863